

ダイヤル油面計取替手順（ダイヤフラムタイプコンサベータ）

作業手順	作業内容	ポイント	参照図
①	変圧器を停止する	作業の安全のため、変圧器を無課電状態にする。 但し、気中プッシング等の充電部が露出していない場合は、変圧器を停止する事無く取替作業は可能です	
②	警報回路を切り離す	作業中に誤警報を発生しないように、警報回路を切り離す	
③	コンサベータ上部のハンドホールを開口する	内部のゴム膜（ダイヤフラム）に亀裂等の無いことを確認する	
④	警報配管・配線を外す	油面計端子に接続されている配線を外し、配線の端末に絶縁処理を施す。（警報配管・配線は再使用する）	
⑤	油面計連結棒をゴム膜から外す	油面計連結棒取付部の取付ボルト又は割ピンを取外す。ゴム膜を損傷しないように注意のこと。	図-2
⑥	油面計を外す	油面計取付ボルトを取外し、連結棒と共に油面計を取外す。 その後油面計から連結棒を取外す。	図-3
⑦	油面計取付のパッキン当たり面を清掃する	開口部にビニールフィルム等で養生を行い、サンドペーパー等にて清掃を行う。	
⑧	油面計のパッキン取付部に、新品パッキンを取り付ける	パッキンの取付状態を確認する	
⑨	パッキン外側の外周にポスシールを塗布する	パッキン面にポスシールが付着しないように、塗布する	
⑩	新油面計に既設油面計連結棒を取り付ける	連結棒の向きを取外前と同様に取付、ナットの締付を行う。 その後ネジロックを塗布する。	図-3
⑪	新油面計を取り付ける	連結棒からコンサベータ内部へ挿入し、油面計を取り付ける。 油面計取付ボルトは対角に締付を行う。	図-2
⑫	警報配管・配線を再使用し、配線を接続する		
⑬	盤内の油面計警報配線を外し、油面計端子台からの絶縁抵抗を測定する。測定後は警報配線を接続し、油面計端子に蓋をする	絶縁抵抗の管理値2MΩ以上を確認し、配線締付の確認を行い、端子の蓋を取り付ける	
⑭	ハンドホールのパッキン取付面を清掃し、新品パッキンを取り付ける	開口部をビニールフィルム等で養生し、サンドペーパー（60番程度）にて清掃を行う。	
⑮	ハンドホールの蓋を取り付ける	ボルトは対角に締付を行う	
⑯	作業箇所およびその周辺をケレンし、補修塗装を行う	作業中にキズ及び汚した箇所を補修塗装を行う	
⑰	変圧器の運転再開	変圧器の運転を再開する	

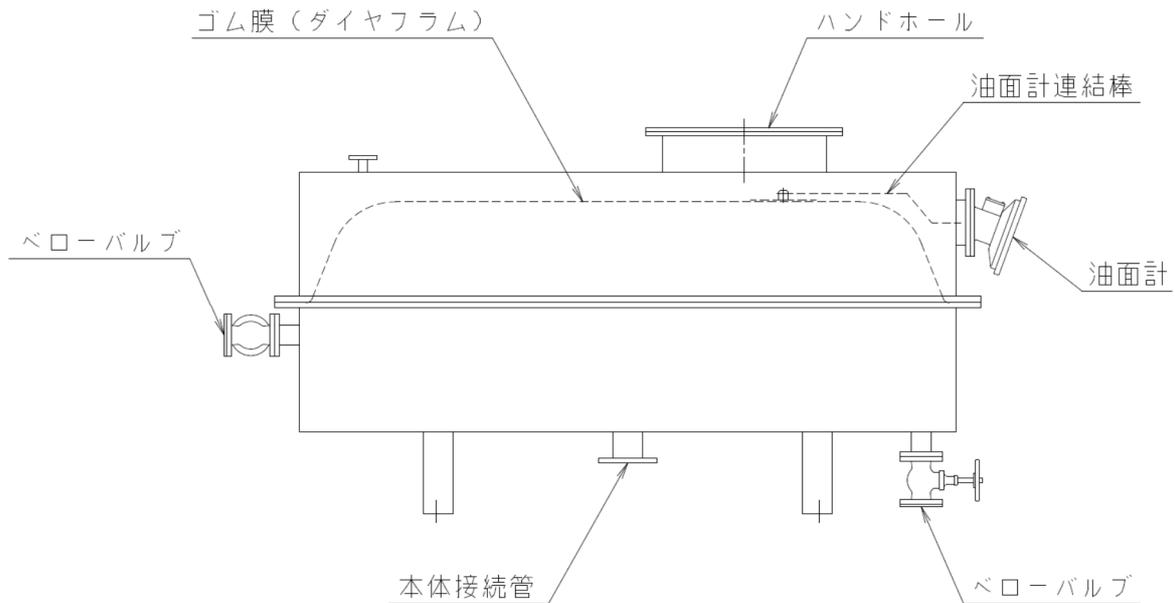
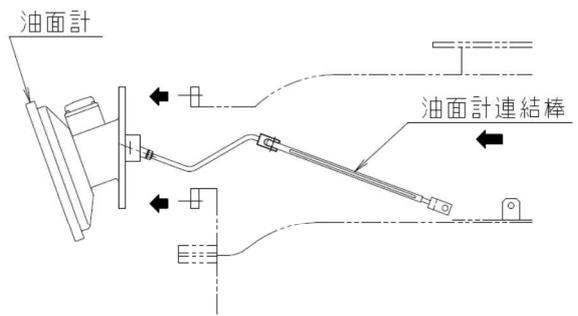
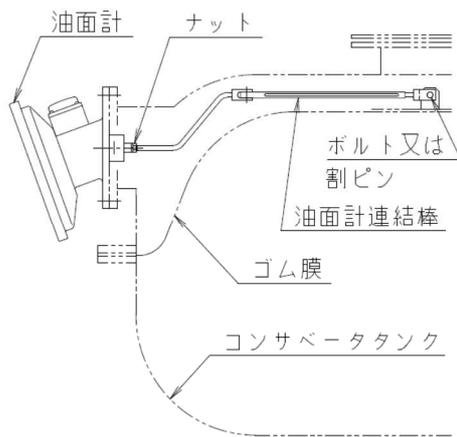


図-1

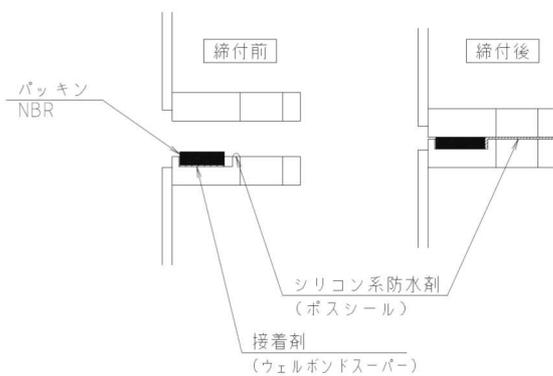
図-1 ダイヤル油面計ダイヤフラムコンサベータ設置図



手順(取外)

1. ボルト又は割ピンを取外す
2. 油面計取付ボルトを取外す
3. 油面計を油面計連結棒と共に取外す

パッキン取付・ポストシール塗布



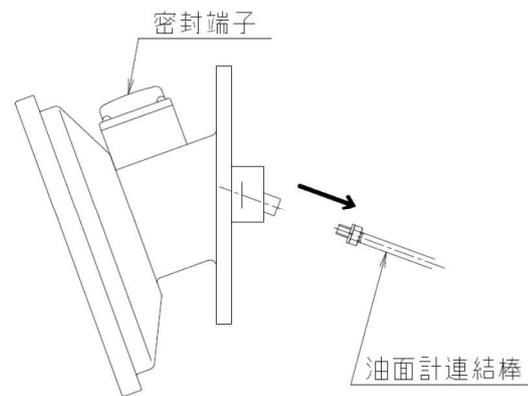
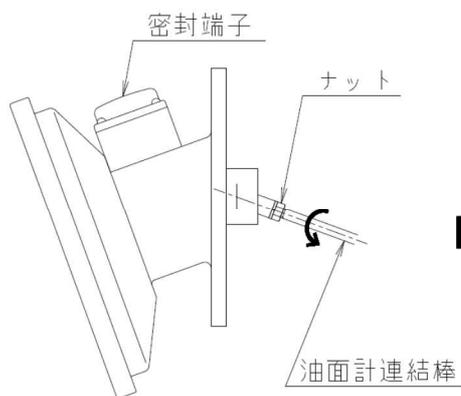
手順(取付)

1. パッキン取付面を清掃する
2. パッキン取付面の外周にポストシールを塗布する。
3. 新油面計を連結棒と共に挿入する
4. 油面計を取付ボルトで締め付ける
5. 連結棒をゴム膜取付用支えに取り付ける (ボルト締め又は割ピン)

手順(パッキン取付)

1. パッキン取付面を清掃する
2. パッキン(NBR)をパッキン溝に装着する
3. パッキン取付面の外周にポストシールを塗布する
4. 油面計取付ボルトで締め付ける

図-2 油面計取外し・取付



手順(取外)

1. ナットを緩める
2. 油面計連結棒を左へ廻しながら取外す

手順(取付)

1. ナットを油面計連結棒に挿入する
2. 油面計連結棒をネジ込む
3. ナットを締付後、ネジロックを塗布し緩み止めを施す

図-3 油面計連結棒取外し・取付